
日本語文法 2

敬語

★★★★

★★★★

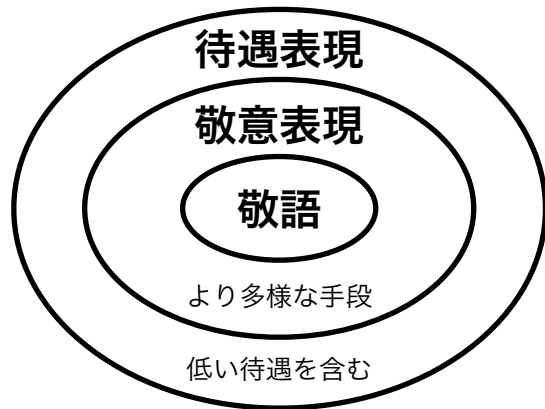
《敬語：知識編》

総論—敬語とは何か

敬語と待遇表現

- * **敬語** (狭義) ……文法と語彙とによって表現
 - * 文法や語彙により話し手の敬意を表わす表現形式
- * **敬意表現** (広義) ……より多様な表現手段
 - * コミュニケーションで相手への配慮を表わす表現
- * **待遇表現** (最広義) ……下位での待遇を含む
 - * 話し手が他人をどのように扱うのかを表わす表現

敬語と待遇表現



敬語と敬意表現

*敬意表現

- * 『コミュニケーションにおいて、相互尊重の精神に基づき、相手や場面に配慮して使い分けている言葉遣い』（国語審議会の提言による）
- * 「敬語」は、敬意表現に含まれる表現形式のひとつ
- * 「敬語」は、敬意表現のなかで主要な地位を占める
- * 「敬語」以外にも、敬意を表わす多様な手段がある

3 分類—尊敬語

* 他人の動作に用い、動作の主体(主語)への敬意を表わす

* 先生が言います。(一般の表現)

➔ 先生がおっしゃいます。(尊敬語による表現)

尊敬動詞

* 自分(やウチの関係にある人)の行為には用いない

* × ~~私がおっしゃいます~~。

* × ~~父がおっしゃいます~~。

3 分類—謙讓語

* 自分の動作に用い、動作に関わる他人への敬意を表わす

* 私が言います。(一般の表現)

➔ 私が申し上げます。(謙讓語による表現)

謙讓動詞

* 他人(ウチの関係にある人以外)の行為には用いない

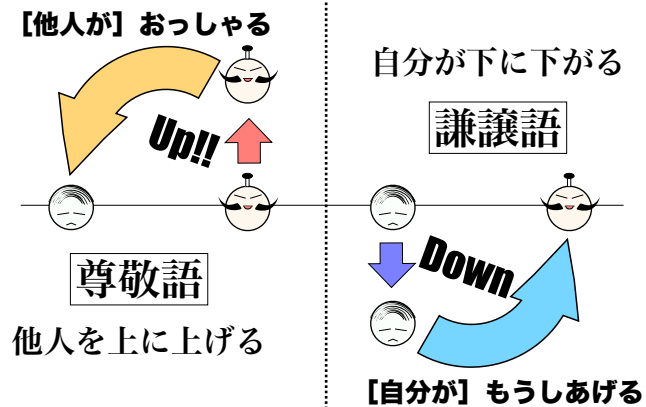
* × ~~先生が申し上げます~~。

* ○ (私の代わりに) 弟が申し上げます。

3分類—丁寧語

- * 言葉を丁寧にし、話を聞いている人への敬意を表わす
- * 一般に文末に現れるため、『丁寧体 (敬体)』ともいう
- * 私が言う。(一般の表現)
 - ➔ 私が言います。(丁寧語による表現)
- * 現代語では、「です」と「ます」の文末表現を用いる
- * 尊敬語や謙讓語とともに使う補助的な敬語といえる

尊敬語と謙讓語



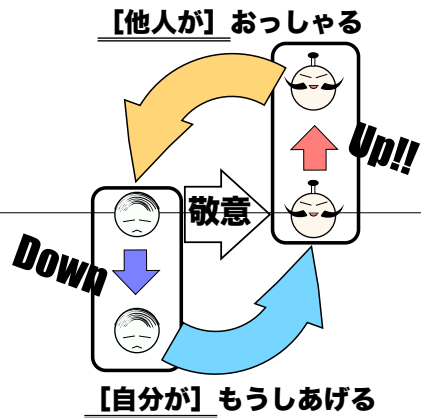
尊敬語と謙讓語

尊敬語

他人が主語(行為者)
他人に敬意を示す
話し手は自分

話し手は自分
他人に敬意を示す
自分が主語(行為者)

謙讓語



敬語にならない動詞

- * 尊敬語・謙讓語は、他人への敬意を表わす表現形式
- * 一般に、動詞の変形や動詞の置き換えで表わされる
- * 〈敬意〉と語義とが一致しない動詞には使いにくい
- * 反社会的な語義を持つ動詞 (×尊敬語・×謙讓語)
殺す、殴る、盗む、捕まる……
- * 相手の利益にならない語義を持つ動詞 (×謙讓語)
批判する、命令する、強制する……

各論一尊敬語

尊敬語の表わし方

- * 特別な形態の動詞（尊敬動詞）を使う [語彙的]
 - * ひとつの動詞が対応する場合 … 尊敬動詞 (1)
 - * 『お～なる』の形による場合 … 尊敬動詞(2)
- * 『お [動詞マス形] なる』の形を使う [文法的]
- * 動詞の受け身形（受動態の文）を使う [文法的]
- * その他の尊敬語の表わし方

尊敬動詞

- * 対応する尊敬動詞を持たない動詞も多い
 - * 「ある」「あげる」「聞く」「わかる」「求める」…
 - ➔ 「聞く」などの尊敬語→『お～になる』の形で示す
- * 複数の尊敬動詞と対応する動詞もある（「来る」…）
- * 尊敬動詞の意味は他の方法では表わしにくい
 - ➔ 尊敬動詞(1)はよく使われるので覚えておくこと

お [動詞マス形] になる

- * 「お」 + 「動詞マス形(語幹)」 + 「になる」→尊敬語
 - * 『聞く』→『お聞きになる』
 - * 『辞める』→『お辞めになる』
- * この形にできない動詞もある
 - * 「する」「見る」「行く」「来る」「言う」……
 - * これらの動詞では尊敬動詞を使って尊敬語を示す

お [動詞マス形] になる

* 丁寧体・依頼・禁止・疑問文などの形でも使われる

* 例：お聞きになる

* [丁寧体] お聞きになります。

* [依頼] お聞きになってください。

* [禁止] お聞きにならないでください。

* [疑問文] お聞きになりますか。

受け身形による尊敬語

* 動詞の《受け身形》で尊敬語を表わす用法

* 「する」→「される」／「聞く」→「聞かれる」

* 「開始時間の変更の件は、聞かれましたか。」

* ほとんどの動詞で使うことができる（汎用性がある）

* ただし、尊敬動詞や『お～になる』よりも敬度が低い

* 『お～なる』と違い、依頼の形や禁止の形にできない

* ×聞かれてください／×聞かれないでください

* ◎お聞きになってください／◎ならないでください

その他の尊敬語の表わし方

- * (お+) [動詞マス形] +なさる
 - * 『聞く』 → 『(お) 聞きなさる』 [やや古い用法]
- * お+ [動詞マス形] +くださる 『~てくれる』の尊敬語
 - * 『待ってくれる』 → 『お待ちくださる』
- * お+ [動詞マス形] +だ/です 『~ている』の尊敬語
 - * 『待っている』 → 『お待ちです』

その他の尊敬語の表わし方

- * [動詞テ形] +いらっしゃる 『~ている』の尊敬語
 - * 『聞いている』 → 『聞いていらっしゃる』
- * [動詞テ形] +いらっしゃる 『~てくる』の尊敬語
 - * 『連れてくる』 → 『連れていらっしゃる』
- * [動詞テ形] +いらっしゃる 『~ていく』の尊敬語
 - * 『持っている』 → 『持っていらっしゃる』

尊敬語の敬意の度合

(非常に敬度が高い)

お [マス形] あそばされる [現代では用いない]

お [マス形] あそばす [現代では用いない]

お [マス形] なさる [現代ではあまり用いない]

[マス形] なさる [現代ではあまり用いない]

お~になる 尊敬動詞

受け身による尊敬語

(やや敬度が低い)

注意：

3類動詞の尊敬動詞

「~なさる」の形は
一般的に用いる

形容詞による尊敬語

* 形容詞にも尊敬語と同等の表現がある (語彙は限定的)

* 他人の性質や状態に関する敬意表現

* 女性的な表現と見られるものもある

* 慣用的なもの (男女兼用)

* お忙しい、お美しい、ご立派な、お元気な……

* やや女性的な表現となるもの

* お寂しい、お綺麗な、(お寒い、お暑い) ……

形容詞による尊敬語

- * 形容詞に「お」をつけた形はさらに敬度が高められる
- * お+ [形容詞テ形] +いらっしゃる [やや古い用法]
 - * 『若い』 → 『お若くていらっしゃる』
 - * 「お若くていらっしゃいます。」は「お若いです。」よりも、さらに敬度の高い尊敬語の表現となる
 - * お世辞を言ったりする場合によく用いられる表現
- * 敬度が過剰な表現なので使用する際には注意すること

名詞による尊敬語

- * 名詞にも尊敬語と同等の表現がある（語彙は限定的）
- * 他人、他人の所有物や関係者・機関に関する敬意表現
- * 手紙文など改まった書きことばで使われることが多い
 - * 他人 : ○○様、○○先生、貴殿、貴台…
 - * 他人の所有物 : お名前、ご住所、お手紙、お暇…
 - * 他人の関係者 : ご家族、ご親戚、ご両親、令嬢…
 - * 他人の関係機関 : 御社、貴社、貴校、貴学…

各論—謙讓語 I

謙讓語 I の表わし方

- * 特別な形態の動詞（謙讓動詞）を使う [語彙的]
 - * 謙讓語 I（謙讓語）を表わす動詞 … 謙讓動詞 (1)
 - * 謙讓語 II（丁重語）を表わす動詞 … 謙讓動詞 (2)
 - * 『お [動詞マス形] する』の形を使う [文法的]
 - * 『お [動詞マス形] いたす』の形を使う [文法的]
- * その他の謙讓語 I の表わし方

謙讓動詞

- * 〈謙讓語の動詞〉と〈丁重語の動詞〉とが区別される
- * 謙讓の動詞と丁重の動詞の両方で使われる動詞もある
- * 複数の謙讓動詞と対応する動詞もある（「来る」…）
- * 対応する謙讓動詞を持たない動詞も多い
 - * 「着る」「くれる」「起きる」「調べる」……
- ➔ 『お～する／いたす』の形やその他の表現で示す

お [動詞マス形] する

- * 「お」＋「動詞マス形(語幹)」＋「する」→謙讓語 I
- * 渡す→『お渡しする』／答える→『お答えする』
- * 受け手のない動作を表わす動詞はこの形にできない
 - * 「×お食べする」「×おわかりする」
- * この形で謙讓語 I にできない動詞もある
 - * 「行く」「来る」「言う」「見る」「する」……
 - * これらの動詞では謙讓動詞を使って謙讓語を示す

お [動詞マス形] いたす

- * 「お」 + 「動詞マス形(語幹)」 + 「いたす」 → 謙讓語 I
- * 渡す → 『お渡しいたす』 / 答える → 『お答えいたす』
- * 一般に、丁寧体の『お～いたします』の形で使われる
- * 受け手のない動作を表わす動詞は、この形にできない
 - * 「× お食べいたす」「× おわかりいたす」
- * この形で謙讓語 I にできない動詞もある
 - * 「行く」「来る」「言う」「見る」「する」……
 - * これらの動詞では謙讓動詞を使って謙讓語を示す

お [3類動詞語幹] する / いたす

- * 『お + [3類動詞語幹] + する / いたす』 → 謙讓語 I
- * 漢字熟語の3類動詞では「お(御)」が「ご(御)」になる
 - * 「ご協力する」「ご案内する」「ご返事する」
 - * 特に日常的な意味の語では「お(御)」のままで用いる
 - * 「お電話する」「お返事する」〔例は少ない〕
- * 外来語の3類動詞は「お～する / いたす」にならない
 - * 「× おチェックする」「× おメールいたす」

その他の謙譲語 I の表わし方

- * お/ご + [動詞マス形] + 申す (謙譲語 I)
 - * 『待つ』 → 『お待ち申す』 [やや古い用法]
 - * 「お～申しあげる」に比べて敬度がやや低い表現
- * お/ご + [動詞マス形] + 申しあげる (謙譲語 I)
 - * 『案内する』 → 『ご案内申しあげる』
 - * 「お～する」よりも敬度が高く、手紙などに使う

その他の謙譲語 I の表わし方

- * お + [動詞マス形] + いただく 『～てもらう』の謙譲語
 - * 『待ってもらう』 → 『お待ちいただく』
- * [動詞使役形のテ形] + いただく 『～させてもらう』の謙譲語
 - * 『待たせてもらう』 → 『待たせていただく』
 - * 『食ばせてもらう』 → 『食べさせていただく』
 - * 動作の受け手への敬意の意味は薄い ⇒ 丁寧語に近い
 - * 年配の人など、違和感を感じる人もいるので注意

謙譲語 I の主語

- * 謙譲語 I の主語は、一般には《話し手=動作主=私》
- * ウチの関係なら、話し手以外の動作主でも主語になる
 - * (私の代わりに) **弟** が伺います。
 - * (私の代わりに) **陳くん** が伺います。
 - * 『弟』 → 家族 / 『陳くん』 → 同僚・同じ研究室
 - * **陳くん** は、先生のところに伺ったことがある？
 - * ウチの関係の聞き手を動作主とする謙譲語も可能

謙譲語 I の敬意の度合

(非常に敬度が高い)



お [マス形] 申しあげる

お [マス形] いたす 謙譲動詞

お [マス形] 申す [現代ではあまり用いない]

お～する

動詞使役形テ形+いただく

(やや敬度が低い)

名詞による謙譲語 I

- * 名詞にも謙譲語 I と同等の表現がある（語彙は限定的）
- * 自分が送り出して他人が受ける物事を低くして表わす
 - * （私から先生への）お手紙、お電話…
 - * （私から先生への）ご質問、ご相談、ご連絡…
 - * ただし「（先生から私への）お手紙」なら尊敬語
 - * 単語の形ではなく、送り手と受け手の関係が重要

各論一丁重語

ていちょうご

丁重語 (謙讓語 II)

- * 丁重語(謙讓語 II)は、話を聞いている人への敬意を示す
- * 一般に、『謙讓動詞』(丁重の動詞)を用いて表わされる
 - * 謙讓語 I の動詞としても使用される動詞が多い
 - * 「参ります」「申します」「致します」……
 - * 「おります」「ございます」などは丁重語のみ
- * 一般に、丁寧語とともに使う(文末が丁寧体となる)

丁重語の表わし方

- * 特別な形態の動詞(謙讓動詞)を使う [語彙的]
 - * 謙讓語 II (丁重語)を表わす動詞… 謙讓動詞 (2)
- * 『[名詞/な形容詞語幹]でございます』の形を使う [文法的]
 - ➔ 「ございます」は丁寧語に分類される場合もある
- * その他の丁重語の表わし方

謙讓動詞(2) 丁重語の動詞

動詞	謙讓動詞	動詞	謙讓動詞
する	致す	知る	存じる
行く 来る	参る	寝る	休む
		死ぬ	亡くなる
言う	申す	ある	ござる
食べる／飲む	いただく	である	でござる

[名詞] でございます

- * 『[名詞／な形容詞語幹] でございます』→丁重語
『～である』の丁重語
- * なお、丁寧語に分類されることもあるので注意
- * 『[名詞／な形容詞語幹] です』よりも敬度が高い
- * わたくしが、責任者でございます。
- * おかげさまで、元気でございます。
- * お部屋は、こちらでございます。 [代名詞]

その他の丁寧語の表わし方

* 『[動詞テ形] おります』 『～ている』の丁寧語

* 台北行きの電車を待っております。

* 「待っています」よりも敬度が高い表現

* 『[動詞テ形] ございます』 『～である』の丁寧語

* 食事を用意してございます。〔用法は限定的〕

* 「用意してあります」よりも敬度が高い表現

その他の丁寧語の表わし方

* 『[動詞テ形] まいります』 『～てくる』の丁寧語

* だいぶ、寒くなってまいりました。

* 「寒くなってくる」よりも敬度が高い表現

* 『[動詞テ形] まいります』 『～ていく』の丁寧語

* 年末に向け、飲酒の機会が増えてまいります。

* 「増えていきます」よりも敬度が高い表現

謙讓語と丁寧語

* 謙讓語 → 謙讓語 I (謙讓語) と 謙讓語 II (丁寧語)

* 動詞の形 (謙讓動詞) や自分が主語となる点は共通

* 謙讓語 I (謙讓語)

➔ 動作に関わる人に対して自分を下げる
(動作の受け手)

* 謙讓語 II (丁寧語)

➔ 話を聞いている人に対して自分を下げる

謙讓語と丁寧語

* 謙讓語 → 謙讓語 I (謙讓語) と 謙讓語 II (丁寧語)

* 謙讓語 II (丁寧語) は自分の行為を控え目に表現する

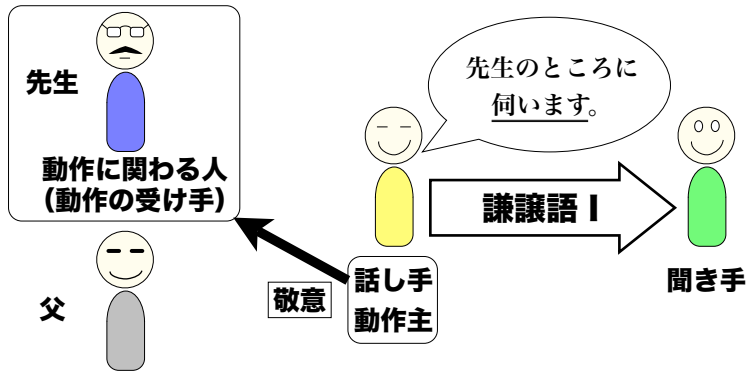
* 謙讓語 I (謙讓語) → 動作に関わる人が必要
(動作の受け手)

* 例) 伺う (←訪問する) = <訪問される人> がいる

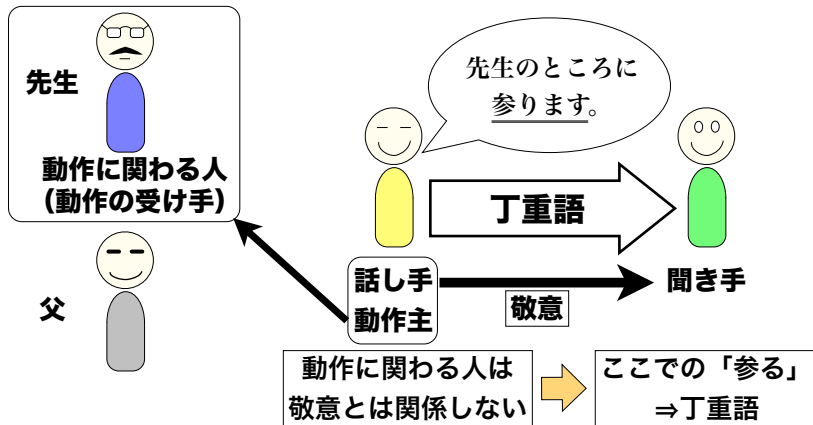
* 謙讓語 II (丁寧語) → 動作に関わる人は不要
(動作の受け手)

* 例) いただく (←食べる) = <食べられる人> はいない

ていちょうご
謙譲語と丁寧語



ていちょうご
謙譲語と丁寧語



名詞による丁寧語

- * 名詞にも丁寧語（謙讓語Ⅱ）と同等の表現がある
(語彙は限定的)
- * 手紙文など改まった書きことばで使われることが多い
- * 自分、自分の所有物や関係者・機関を低くして表わす
 - * 自分 : 小生、小弟、愚老…
 - * 自分の所有物 : 粗品、粗茶、粗餐、拙宅、拙文…
 - * 自分の関係者 : 愚兄、愚息、愚妻、私ども…
 - * 自分の関係機関 : 弊社、商社、当校、手前ども…

各論—丁寧語

丁寧語の表わし方

- * 丁寧な文末表現（丁寧体／敬体）を使う
 - * 「です」 … イ形容詞、ナ形容詞、名詞に接続
 - * 「ます」 … 動詞に接続
 - * 丁寧語「ございます」を丁寧語とすることもある
- * その他の丁寧語の表わし方

「です」「ます」

- * 最も一般的な丁寧語で、文末に使う（丁寧体／敬体）
 - * 「です」 … イ形容詞、ナ形容詞、名詞に接続
 - * 若いです／白いです／大きいです [イ形容詞]
 - * きれいです／立派です／優秀です [ナ形容詞]
 - * 学生です／韓国人です／20才です [名詞]
 - * 「ます」 … 動詞に接続
 - * 食べます／わかります／歩きます [動詞]
- * 「× 食べますです」のように重ねて使うことはできない

丁寧語の特徴と機能

- * 丁寧語は、話を聞いている人に対する敬意を表わす
- * 丁寧語のみでも 尊敬語や謙譲語に加えても使える
 - * 食べます [丁寧語のみ]
 - * 召しあがります [尊敬語+丁寧語]
 - * いただきます [謙譲語+丁寧語]
- * 敬意を示す対象が聞き手の場合には丁寧語が必須
 - * 「× 召しあがるか？」 「× また参る。」
 - * 「◎ 召しあがりますか？」 「◎ また参ります。」

丁寧語と丁重語

丁寧語

丁重語

話を聞いている人への敬意を表わす

文末の形式(丁寧体)で示す

特別な動詞(謙譲動詞)で示す

様々な対象に使える

使用する範囲は限定的

他の敬語と組み合わせて使う

丁寧語と組み合わせて使う

い形容詞の丁寧語

- * 丁寧語は文末で表わすのが一般的だが、例外もある
- * 美化語や丁寧語、尊敬語とする考えもある
- * 『「お」 + [い形容詞 (辞書形)]』で丁寧語を示す
 - * 「お寒い」「お暑い」「お熱い」「お安い」……
 - * 「お寒いです」のように丁寧語の「です」とも接続
- * やや女性語的な語感がある表現なので使用には注意

各論—美化語

美化語

- * 話を聞いている人に上品な印象を与えるための表現
- * 特定の人物への敬意を表現するはたらきは持たない
- * 接頭辞「お／ご」により美化語を示す方法 [文法的]
 - * お酒、お水、お砂糖、お料理、ご馳走
- * 語を他の語にとりかえて美化語を示す方法 [語彙的]
 - * (お)手洗い (←便所)、ごはん (←めし)

美化語の接頭辞

- * 「お(御)」か「ご(御)」かは語彙的に決定される
- * 美化語では「お(御)～」の形になる場合が多い
 - * 和語や日常的な意味の語は「お(御)～」となる
 - * 「お金」「お水」「お皿」「お風呂」「お仕事」
 - * 漢語や抽象的な意味の語は「ご(御)～」となる
 - * 「ご馳走」「ご本」「ご依頼」 [例は少ない]
- * 外来語は「お～／ご～」の形にはならない

《敬語：運用編》

総論—敬語使用の基本

敬語の適切な使い方

- *適切な **場面** で
 - *適切な **相手** に
 - *適切な **種類** を
 - *適切な **度合** で
- } 敬語を使う

敬語を使う相手と場面

	敬語を使う		敬語を使わない	
上下	目上	上司／先生	同位／目下	同僚／部下
親疎	親しくない	知らない人	親しい	友人
遠近	心理的な 距離が遠い	仲が よくない人	心理的な 距離が近い	仲間
ウチ・ソト	ソトの関係	他人	ウチの関係	家族／親族
公私	公的な場面	会社の中	私的な場面	居酒屋

→5つの基準を総合的に判断して敬語を使う

敬語の種類使い方

- * 『他人』が主語のときに《尊敬語》を使う
 - ➔ 『他人』を高めることで他人に敬意を示す
- * 『自分』が主語のときに《謙讓語》を使う
 - ➔ 『自分』を低めることで他人に敬意を示す
- * 話すときに《丁寧語》や《美化語》を使う
 - ➔ ていねいに話すことで聞き手に敬意を示す

敬語と過剰な敬語

- * 敬語は少なすぎても多すぎても失礼になる
 - * 「本日は、一段とお綺麗でいらっしゃいますね。」
 - ➔ 過剰な敬語は皮肉やイヤミと感じられる
 - * 「誕生日おめでとう？バカヤロー、ふざけたこと抜かしやがって。ちょっと、うれしいじゃねえかよ。」
 - ➔ ぞんざいな表現で親愛を示すこともある
- * 適切な敬度の高さで適切な量の敬語を使う

各論—敬語と語体

語体について

- * 文では、文末文体（丁寧体／普通体）が区別される
- * 語には『語体』（ワードスタイル word style）の区別がある
- * 語体の区別 → 高い語体／ふつうの語体／低い語体
- * 高い語体の語は、高くない語体の語よりもていねい
- * 敬語が使われる文では、より高い語体の語を用いる

語体の区別 (例)

高い語体	普通の語体	低い語体
はい。	ええ。	うん。
わたくし	わたし/ぼく	あたし/オレ
(ごはん)	ごはん	めし
——	食べる	食う/食らう
よろしい	よい	——
遺体	死体	——

語体の高い語(1)

	高い語体		高い語体
ここ/こっち	こちら	どのくらい	いかほど
そこ/そっち	そちら	今日	本日
あそこ/あっち	あちら	<small>きのう</small> 昨日	<small>さくじつ</small> 昨日
どこ/どっち	どちら	<small>あした</small> 明日	<small>みょうにち</small> 明日
どんな	どのような	あさって	<small>みょうごにち</small> 明後日
どう	いかが	この前/この間	先日

語体の高い語(2)

	高い語体		高い語体
前に	以前 (に)	ちょっと/少し	少々
さっき	さきほど	すごく/とても	大変 (に) 非常に
今度	この度	でも	しかし
あとで	のちほど	だから	ですから
すぐに	さっそく ただちに	多い/多くの	多大な
もうすぐ	まもなく	少ない/少しの	些少な

語体と敬語

* 文中の語の語体が一致しないと不自然な文となる

* 敬語は、敬語や高い語体の語と組み合わせて使う

低い語体 めし ←→ 食う

ふつうの語体 ごはん ←→ 食べる

高い語体・敬語 お食事 ←→ いただく

×めしを食べる。 ×お食事を食う。

×めしをいただく。 ×ごはんを食う。

各論—敬語の用法

敬語を使う際の注意

- * 敬語を使うべき相手・場面であるかよく考える
- * 他人のことには尊敬語、自分のことには謙讓語
- * 動詞の置換・動詞の語形の変換を正しく行なう
- * 特定の動詞や名詞を敬語にするだけでは不十分
- * 文中の他の語も敬語や高い語体の表現に換える

敬語の用法—尊敬語(1)

* [敬語なし] コーヒーにする?紅茶にする?

➡コーヒーになさいますか。紅茶になさいますか。

* [敬語なし] 食べて(くれ)。

➡召し上がってください。(お召し上がりください。)

* [敬語なし] これからどうする?

➡これから(は)、いかがなさいますか。

敬語の用法—尊敬語(2)

* [敬語なし] ゆっくり見て(くれ)。

➡ごゆっくり、ご覧くださいませ。

* [敬語なし] ちょっと待つて(くれ)。

➡少々、お待ちくださいませ。

* [敬語なし] 意見を聞かせて(くれ)。

➡ご意見をお聞かせください。

敬語の用法—丁寧語(2)

- * [敬語なし] 今、バス停でバスを待ってる。
➡ただいま、バス停でバスを待っております。
- * [敬語なし] だいぶ暑くなってきたね。
➡だいぶ(ん)暑くなってまいりました(ね)。
- * [敬語なし] わたしが、王です。
➡わたくしが、王でございます。

敬語の用法—美化語

- * [敬語なし] 酒飲まない？
➡お酒を飲みませんか？
- * [敬語なし] うまい料理だ。
➡おいしいお料理です。
- * [敬語なし] 水くれ。
➡お水をください。

敬語の誤った使い方(1)

* ~~その件は、わたくしがおっしゃいます。~~

➔ その件は、わたくしが申しあげます。

◆ 自分の行為に尊敬語（おっしゃる）は使えない

* ~~先生は、朝めしを食べていらっしゃいます。~~

➔ 先生は、朝ごはんを食べていらっしゃいます。

◆ 尊敬語と語体の低い語は同じ文の中で使えない

敬語の誤った使い方(2)

* ~~私の父は県議会議員をなさっています。~~

➔ 私の父は県議会議員をしています。

◆ うちの関係の者に尊敬語（なさる）は使えない

* ~~明日、日本から妻のご両親がお越しになります。~~

➔ 明日、日本から妻の両親が来ます。

◆ 『妻の両親』は、身内なので敬語は使わない

敬語の誤った使い方(3)

* ~~先生はいらっしゃいますか。~~

➡先生はいらっしゃいますか。／おいでになりますか。

◆尊敬動詞に「～になる」をつけることはできない

* ~~応接室にお客様がおられます。~~

➡応接室にお客様がいらっしゃいます。

◆文法上は正しいが、尊敬語「おられます」に違和感を感じる人もあるので「いらっしゃいます」の方が無難

敬語の誤った使い方(4)

* ~~お客様が、お見えにいらっしゃいます。~~

➡お客様が、お見えになっています。

◆尊敬語＝「お～なる」：「お～尊敬動詞」はない

* ~~お客様がいらっしゃいます。~~

➡お客様がお見えです。／おいでです。

◆尊敬語＝「お～です」：「尊敬動詞＋です」はない

敬語の誤った使い方(5)

* ~~ここにいらっしゃる犬は社長のペットです。~~

➡ここにいる犬は社長のペットです。

◆人間以外に尊敬語（いらっしゃる）は使わない

◆目上の人のものであっても動物に敬語は不要

* 例外的に人間以外に尊敬語を使うこともある

* 例：「お寺に観音様がいらっしゃいます。」

敬語の誤った使い方(6)

* ~~お客様がお見えになりました。~~

➡お客様がお見えになりました。／お見えです。

➡お客様がお見えになっていらっしゃいます。

➡お客様がお見えでいらっしゃいます。

◆いわゆる『二重敬語』は誤用ではないが不要である

• 敬語を重ねて使う場合は「テ形」でつなぐ方がよい

敬語の誤った使い方(7)

* ~~先生がおっしゃられた通りです。~~

➔先生がおっしゃった通りです。

➔先生が言われた通りです。 [やや敬度が低い]

➔先生がおっしゃっていらっしゃる通りです。

◆いわゆる『二重敬語』は誤用ではないが不要である

- 敬語を重ねて使う場合は「テ形」でつなぐ方がよい

敬語の誤った使い方(8)

* ~~確認できる書類をご持参ください。~~

➔確認できる書類をお持ちください。

◆謙譲の意味を含む「持参する」は尊敬語にできない

* ~~パーティーにいらっしゃりたいですか。~~

➔パーティーにいらっしゃいませんか。

◆勧誘する場合、尊敬語+希望の「たい」は失礼

敬語の誤った使い方(9)

* ~~冷めないうちにいただいでください。~~

➔冷めないうちに召し上がってください。

◆食べるのは他人なので謙譲語（いただく）は使えない

* ~~先生が（私に）明日来るように申し上げました。~~

➔先生が（私に）明日来るようにおっしゃいました。

◆他人の動作に謙譲語（申し上げる）は使わない

敬語の誤った使い方(10)

* ~~問題がございましたら申してください。~~

➔問題がございましたらおっしゃってください。

◆他人の行為に謙譲語（申す）は使えない

* ~~今、何と申されましたか。~~

➔今、何とおっしゃいましたか。

◆他人の行為を「申される」と表現するのは古語

敬語の誤った使い方(11)

* ~~資料は受付でいただいでください。~~

➡ 資料は受付でお受け取りください。

◆ 他人の行為に謙譲語（いただく）は使えない

* ~~お手紙をご覧いたしました。~~

➡ お手紙を拝見いたしました。

◆ 「*ご覧いたす」という謙譲語はない（◎拝見する）

敬語の誤った使い方(12)

* ~~これから伺わさせていただきます。~~

➡ これから伺わせていただきます。／訪問させて～

◆ 「伺う」の使役形テ形は「伺わせて」となる

* ~~これからお伺いさせていただきます。~~

➡ これからお伺いいたします。／お伺いします。

◆ 文法的には適格だが敬語がやや過剰である

敬語の誤った使い方(13)

* ~~本日、休まさせていただきます。~~

➡ 本日、休ませていただきます。

◆ 「休む」の使役形テ形は「休ませて」となる

* ~~私が手伝ってさしあげます。~~

➡ (私が) お手伝いします。 / お手伝いいたします。

◆ 誤用ではないが「～てさしあげる」は避けるべき

敬語の誤った使い方(14)

* ~~お飲み物はなにいたしますか。~~

➡ お飲み物は何になさいますか。

◆ 誤用ではないが、尊敬語を使う方がより適切である

* ~~お待ちいたされますか。~~

➡ お待ちになりますか。

◆ 謙譲動詞「いたす」は受け身形の尊敬語にできない

敬語の誤った使い方(15)

* ~~今日は、暑いでございますね。~~

➔今日は、お暑いですね。／暑い日でございますね。

◆「い形容詞テ形+ございます」の形はない

* ~~(息子さんは) お元気でおりますか。~~

➔(息子さんは) お元気でいらっしゃいますか。

◆丁寧語「おります」は相手(の側)には使わない

敬語の誤った使い方(16)

* ~~おコ—ヒ— はいかがですか。~~

➔コーヒーはいかがですか。

◆外来語は美化語(お／ご～)にしないのが原則

• 例外的に「おビール」と言うことがあるが、年配の女性が使う語感があるので、実際には使わない方がよい

• 「タバコ」は外来語(ポルトガル語)だという意識が薄くなっているので、「おタバコ」となることも多い

おわり